

2021.  
NOVEMBER

N°429

# NOZOMI

Stand Out! ~ 次世代がより豊かになる仙台へ ~



## 03 | 理事長対談

ひとづくりからものづくりを極める  
豊かな人材が東北の未来を切り拓く

Contents

02 | 理事長挨拶・次年度理事長挨拶

13 | 新入会員紹介

08 | 事業報告

15 | 編集後記


<https://www.sendai-jc.or.jp>

公益社団法人 仙台青年会議所 2021年度広報誌

本誌は仙台青年会議所の運動を幅広く一般の方々に発信するための広報誌です。  
仙台青年会議所公式ウェブサイトでも本誌に掲載された内容をご覧いただけます。



## 2021年度

## 理事長挨拶



ただきました。第34回国際アカデミーin仙台では、海外との渡航制限がある中での国際事業となりましたが、市民の皆様にもご参画いただき、まちの更なる発展に向けたネットワーク構築につながったのではないかと考えております。皆様への感謝を込めて、本年の事業で積み重ねた経験をこれから活動に活かし、まちの持続的発展に貢献して参ります。

公益社団法人仙台青年会議所  
第70代理事長 菅原 啓太

平素より当青年会議所に対し、格別のご高配を賜っておりますことに心より感謝申し上げます。

本年は、第52回仙台七夕花火祭や第34回国際アカデミーin仙台をはじめ様々な事業を実施させていただき、多くの方々からお力添えを賜りました。関係する全ての皆様にお礼申しあげます。第52回仙台七夕花火祭では複数個所での打ち上げという初めての試みに対し、関係各所の皆様からご賛同と実現に向けたご支援をい

ました。ビジョンには私たちが描くまちの未来像が記されており、本ビジョン達成を通して「しあわせを共感できる仙台」を実現していきたいと考えております。「このまちに生まれてよかつた」とより多くの市民の皆様が感じができる、そんな未来を共に創って参りましょう。



## 理事長対談

トヨタ自動車東日本株式会社  
代表取締役会長

公益社団法人 仙台青年会議所  
第70代理事長

白根 武史 X 菅原 啓太

ひとつづくりからものづくりを極める  
豊かな人材が東北の未来を切り拓く

トヨタ自動車東日本株式会社代表取締役会長 白根 武史氏は、東日本大震災の凄惨たる光景を目の当たりにし、自動車業界のリーディングカンパニーとして、この東北の地の復興を固く決意しました。あれから10年、東北経済の発展に向けて尽力する中で、様々な困難を課題解決してきたトヨタスピリッツ。そして、ものづくりに携わる会社だからこそ大切にしているひとつづくりの秘訣をお聞かせいただきました。

**菅原理事長（以下、菅原）** 本日は、トヨタ自動車東日本株式会社 代表取締役会長 白根 武史様にお話を伺いたいと思い、対談をお願いさせていただきました。よろしくお願ひいたします。

**白根会長（以下、白根）** はい。よろしくお願ひします。

**菅原** 私たち、仙台青年会議所（以下JOC—仙台）は、より良い地域やまちづくりのために積極的に関心を持つておられます。

その中で、御社の地域に対する関わり方は非常に奥深いものがあるなど感じております。

企業として地域に貢献していくひとづくり、まちづくりに関してお聞きしたいと思います。

### トヨタ東日本のひとづくり

**白根** 私がトヨタ自動車東日本株式会社を任せられた経緯からお話しします。2011年の東日本大震災の発災当時、私は生産、物流、製造を統括する役目おりました。それで、震災直後に急速対策本部を設けて、本部長として全体を指揮しておりました。

被災地に足を運べたのが6月中旬でした。対策本部長という立場上、現地になかなか足を運べない状況でした。発災から4カ月経つてやっと現地に行くことができました。釜石から石巻ま

で通れるところを通って見て回りましたが本当に復興できるのか、人はこの地に戻つていいのだろうかと正直思いました。そのような状況下で「トヨタ自動車東日本を引っ張つて欲しい」と豊田章男社長（トヨタ自動車株式会社代表取締役社長）から任されました。東北のために何ができるのか、復興の一端を担えることに武者震いしたのを覚えております。

そして、いざ東北にきてみたら、東北の方の人間性に魅力を感じました。何に対しても誠実だという強みがあると感ります。

そこで、いざ東北にきてみたら、東北の方の人間性に魅力を感じました。何に対しても誠実だという強みがあると感ります。



また、東北には数多くの伝統工芸品があり、そこを観察していく中でものづくりの基本姿勢を学ばせていただきました。それと時を同じくして、2013年4月にトヨタ自動車東日本の企業内訓練校を立ち上げました。東北内の従業員として採用した東北出身の工業高校卒15名と東北地場企業の社員5名の計20名で1年間、現場の柱になる人間を育成するというミッションでいらっしゃいます。今まで合計で740名を輩出しております。豊田英二さん（トヨタ自動車株式会社 第5代社長）は、「ものづくりはひとづくりである。ものを

**白根** 仙台は東北の玄関口ですね。その役目や責任は大きいと思います。関東圏と仙台がしっかりとつながることで、仙台を含めて各東北の県が関東圏とつながっていく流れが波及効果として期待できると思います。そのためには、仙台に本社や支社を置く会社を増やして、東北全体に定着を図っていくことが重要であると思います。

その次は、学校や教育を充実させないとダメだと思います。そうしないと、子供がある程度大きくなってしまつたら他の地域に流出してしまうと思いません。東北は私立が少ないのでですね。ですから、高校を出て大学生になろうつ

つくるのは人だからひとをまず育てないと始まらない」と言いました。それが、トヨタの原点になります。

をされたりしますか。

**白根** そうですね、元々トヨタには「なぜを5回繰り返せ」というのがあります。最初の「なぜ」で「なんでこうなった」という形で突き詰めていくということを若い時からずつと言われ続けてきて、それを自分で考へるということと、実際に現場でやっていることに対しても、「今、何が困っているだろう」「どこがネックだらう」というのを一つひとつ解いていくサイクルを徹底してやるということがあります。

例えば、宮城大衡工場で作っているシエンタという車があります。あれは、組み立てのラインで人が内張を貼るために人力でバックドアを開ける必要があり、これを何とかからくりを使って人手なしでやれる方法がないかと、上から当時3歳の若い社員が宿題を与えられました。

菅原 個人的な印象になりますが、御ひらめいてこれ使ってみようとする日、氷嚢を買って、風船代わりで氷嚢をその先につけてあげたら全然割れませんでした。試行錯誤の中で追い込まれている状況下だからこそ、いい解決案がないかなということを考えていた、ボクシングを見たときにそれがピツとつながったわけです。頭の中に意識していることがふとした瞬間につながって、それが改善につながるものですね。

**菅原** 個人的な印象になりますが、御

おひらめいてこれ使ってみようとしたとき、彼は困った顔で、氷嚢を握りながら「どうも、これでいいのかな」と言っていた。私は「いいよ」と思っていました。私たちも毎年会員を増やすことに力を注いでいますが、会員一人ひとりが情熱を持つていてそれが会員拡大の要だと思います。それを理解している人たちが少ないので、それを会員の皆さんに伝えて、理解させることが出来る人も少ないので現状です。

菅原 ありがとうございます。続いて、課題解決に取り組んでいく点をお聞きしたいと思っております。御社の中で課題や問題の見つけ方というのは、その当事者の方に徹底的にヒアリング

### トヨタの課題解決

菅原 ありがとうございます。続いて、課題解決に取り組んでいく点をお聞きしたいと思っております。御社の中で課題や問題の見つけ方というのは、その当事者の方に徹底的にヒアリング



菅原 ありがとうございます。続いて、課題解決に取り組んでいく点をお聞きしたいと思っております。御社の中で課題や問題の見つけ方というのは、その当事者の方に徹底的にヒアリング

たという人は自分でやりたい勉強の選択幅が東北ではものすごく狭いと思います。やはり、教育環境が定着に与える影響は大きいですよね。



菅原 私も大変重要なことだと思っていました。私たちも毎年会員を増やすことに力を注いでいますが、会員一人ひとりが情熱を持つていてそれが会員拡大の要だと思います。それを理解している人たちが少ないので、それを会員の皆さんに伝えて、理解させることが出来る人も少ないので現状です。

まず、その必要性から理解しないといけない。理解している方はいるので、その共感を増やして会員拡大をしていかないと、入会しても何もせず終わってしまいます。いつの間にか会員数を増やすことが

を使つても割れてしまいます。彼は困り果て、他の方法を考えるしかないと思いまして。私たちがそういう姿勢や考え方を周りの方に持つてもららための何か秘訣はありますか。

社は、「超能動的組織」ではないかと思いました。私たちがそういう姿勢や考え方を周りの方に持つてもららための何か秘訣はありますか。

目的になってしまい、手法が目的化してしまうという状況がよくあるパターンです。

**白根** 表面上でしかつながっていない組織はよくないです。熱を帯びた会員を1人ずつ増やしていく、毎年どれだけ熱の塊になるような人間が集まるかが、組織の成長に必要となっています。

**菅原** そのことが組織には非常に重要なだと思います。

**白根** 仙台は歩いて、必要なものは全て揃う素晴らしいまちだと思います。食べるものにしても全国の色々なものが揃つており、石巻や塩釜など本当に素晴らしい漁港や海、観光する場所はいっぱいあります。本当に恵まれた土地だなと思います。東京のようなエキサイティングなまちに、どういうふうにしたら近づけるかを考えてもつまらないので、仙台にはやっぱり仙台の良さがあるのだとそれを活かしてほしいと思います。

仙台は仕事をリタイアした後に戻ってきて再び住む人も多いと聞きます。仙台に何の所縁もない人が支店長をやっていたときに仙台の良さに馴染んで、リタイアしたら戻ってくるという話を聞きます。

**菅原** よく聞くのは、仙台は何もないという言葉を地元の人から聞くことがあります。私はそうではなくて、実は結構あるということを知らないだけじゃないかなと思います。便利なアクセス環境が生活圏を必要以上に広げずに組んでいけるので、非常に住みやすいまちだと思っています。

## 仙台に思うこと

**菅原** 話は変わりますが、続いて白根会長が仙台に対して思う仙台の魅力や課題についてお聞かせください。



**白根** その通りだと思いますね。大都市では毎朝、毎晩遅くまで遠いところから通つて、通勤だけでエネルギーの半分ぐらい使つてしまふように思えます。コロナ渦でリモートを駆使して在宅勤務をみんながやるようになつて、今まで何をやつていたんだろうと気づいた人はたくさんいるのではないかと思います。そういう人が仙台の魅力を知ると、やっぱり住みたくなるまちだと思います。

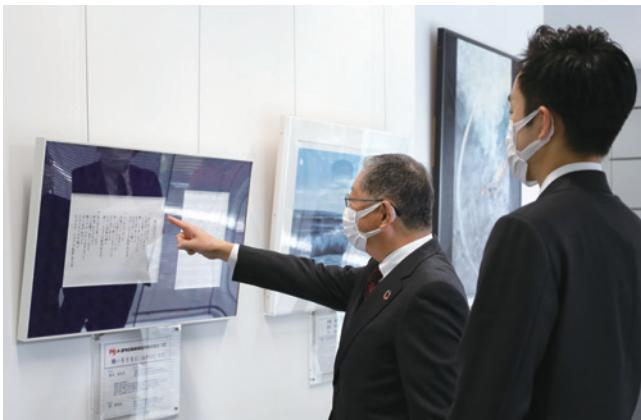
いる方が人間としての原点はどこにあるだろうと考えるわけです。きっと、会社への通勤にエネルギーを使い果たして、会社では上司に叱られて。そうしたときに自分の原点はどこにあるのかを見出そうとしたときに自分の時間に没頭する趣味でもいいし、昔の学生時代の友達と食べて飲んでもいいし、なんでもいいです。

そういう、自分の時間に浸れる時間が見出そうとしたときに自分の時間に没頭する趣味でもいいし、昔の学生時代の友達と食べて飲んでもいいし、議所全体としては「明るい豊かな社会を目指す」という目標があります。私

## 豊かさとは

その点で仙台は、生活を営む上で自由ない環境や素晴らしい自然があるし、恵まれているアドバンテージを持つていると思います。

JCIもですが、「豊かさ」という言葉を頻繁に使います。日本青年会議所全体としては「明るい豊かな社会を目指す」という目標があります。私



の社業である清月記も命の物語応援会として冠婚葬祭業が中心ではあります  
が、様々な事業やお客様とどう関わっていくかは、お客様の人生をいかに豊かにできるかだと思います。それ  
を軸に事業をやっています。白根会長  
にとって、「豊かさ」とはなんでしょう

「そういうことではないけれど、自分にあればいいなと思ったら一生懸命それを真似ようとする。そういうのがずっと積もり積もってきて、最終的に自分の成長につながります。だから、いろんな人に会ったときに、大事にしなくていけないのはやっぱり「レスポンス」ですよね。打てば響く「レスポンス」。それが誠実さであると思います。

**菅原** レスponsは大事だと思います。  
**白根** 私は、「レスponsが大事だ」最初の3年が勝負だぞ」と言います。野球でいえば三遊間のゴロに飛びつけと。最初からこれはショートだ、これはサードだなんて言つての場合かと三遊間のゴロが飛んできたら2人とも飛びつけと言います。



菅原　JCOー仙台を利用して、例えれば  
本日のように会長にお会いできたように、うまくそういう場面を自分たちの  
成長のチャンスにつなげてもらうこと  
は非常に面白いと思います。JCOー仙  
台もレスポンス、レスポンスと言うの  
で、その量が増えれば増えるほど、  
活動を振り返った時にここまでやっ  
てきてよかったです、色々な人の出会  
いに感謝することが訪れてくると思  
います。我々も白根会長にお教えい  
ただいたことを大切にしなければい  
けないと改めて感じました。本日は  
色々と興味深いお話をありがとうございました。

白根 武史（しらねたけし）

武史（しらねたけし）

トヨタ自動車東日本株式会社  
代表取締役会長

東北經濟連合会副会長、仙台

友会副代表幹事も務める。

1977年にトヨタ自動車工業

トヨタ自動車入社。

生産管理や調達部門を経て2

生産管理・請負部門統合

金同裕宮祿往員

續行

2012年トヨタ自動車東日本

と同時に同社代表取締役社長に

2019年より同社代表取締役

第34回国際アカデミーin仙台  
プレ国際アカデミー開催

7月11日(日)

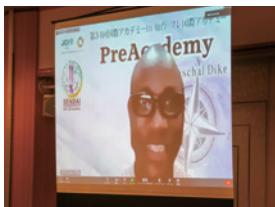
プレ国際アカデミー開催

7月11日(日) 宮城県仙台市にて第34回国際アカデミーin仙台プレ国際アカデミーが開催されました。

国際アカデミーは国際青年会議所(JCI)の事業として毎年日本各地で開催され、国内から約100名、海外から約80名の青年会議所メンバーが集い、国際レベルで活躍するリーダーとなるためのトレーニングを行います。

プレ国際アカデミー当日は、全国から現地・オンライン参加にて、約100名の青年会議所メンバーにお集まりいただきました。

伊達武将隊の支倉常長さんによる仙台の歴史と文化を学ぶモジュールから始まり、ナイジェリアからのオンライン中継によるJCIコースリーダーのパスカル・ディケイ氏によるプレ国際アカデミーのモジュール、2021年度JCI会頭小嶋隆文君による国際の機会の魅力を伝えるモジュールの3部構成で行われました。



新入会員バッジ授与式  
及び第8回例会

7月29日(木)

バッジ授与式・第8回例会をハイブリットにて開催

7月29日(木) 新入会員バッジ授与式及び第8回例会を実地・WEB配信によるハイブリットにて開催しました。

バッジ授与式では、仮会員セミナーⅠ・Ⅱ、各種セミナー、例会などの正会員になるためのステップをクリアした16名の新入会員にバッチが授与されました。

また、バッジ授与式の後に開催した第8回例会は、仙台青年会議所会員が、コロナ禍においての仙台七夕花火祭の開催方法、警備面での課題と対応、感染症対策について必要な知識を正しく身につけるとともに、主催者としての責任と自覚を認識し、安全・安心かつクリーンに事業を行うことの重要性を理解するための機会としました。



令和3年7月  
熱海市土石流災害 街頭募金活動

7月10日(土)・11日(日)

街頭募金活動のご報告

7月10日(土)11日(日) 仙台青年会議所メンバーにて、令和3年7月熱海市土石流災害の支援を目的に街頭募金活動を行わせていただきました。多くの皆様よりご支援いただき2日間合計で円494,912円集まりました。

なお、お預かりさせていただきました支援金は、被災者支援金として、JCI熱海を通じて、全額寄付させていただきました。



サマコン2021開催！ 7月17日(土)・18日(日)

「サマーコンファレンス2021彩の結節点」開催

7月17日(土)、18日(日) 日本青年会議所主催「サマーコンファレンス2021彩の結節点」が横浜にて開催されました。

サマーコンファレンスは毎年、日本青年会議所の会員が自身の学びや、年間の運動を広く発信するために各界を代表する著名な有識者をお招きし、様々なジャンルのファンクションが開催されます。

本年度開催のサマーコンファンレスは感染症対策を徹底し、現地・WEBのハイブリット方式にて開催いたしました。

仙台青年会議所の会員も多く日本青年会議所へ出向しており各ファンクションの企画・運営を担当しておりました。

なお、仙台でもサテライト会場を設けたWEB配信を実施し、多くのメンバーで視聴しました。



## 仙台七夕花火祭安全祈願

8月4日水

### 第52回仙台七夕花火祭に向けた安全祈願のご報告

8月4日（水）、第52回仙台七夕花火祭に向けた安全祈願を櫻岡大神宮にて行いました。

菅原理事長をはじめとする常任理事会構成メンバー及び監事、そして、斎藤特別委員長をはじめとする七夕花火祭特別委員会のメンバーが参列し、8月5日（木）に開催する仙台七夕花火祭が安心・安全に開催でき、市民の皆様に「笑顔」を届けることができるよう一同で祈願いたしました。



## 第52回仙台七夕花火祭開催！ 8月5日木

### 初のWEB配信も実施した第52回仙台七夕花火祭の開催

8月5日（木）第52回仙台七夕花火祭、「笑顔～未来を灯し、より豊かになる仙台へ～」をテーマに開催しました。

本年の七夕花火祭は新型コロナウイルス感染予防対策のため規模を縮小し市内5カ所にて、場所・時間は非公開で計475発の花火を打上げました。

また、各打上げ会場をご家庭でも見れるよう初のWEB配信も実施しました。WEB配信は、約9,000人と大変多くの方々に見ていただきました。



動画はこちらにて公開中



豊かになる仙台へ～」をテーマに、仙台に笑顔が溢れ、地域を愛する気持ちが広がってほしいとの想いを込めて、市民の皆様から仙台の未来に向けたメッセージや、これまでの仙台七夕花火祭にまつわる思い出に残るエピソードをお寄せいただき、たくさんの市民の皆様のご協力のもと開催しました。8月5日の花火打ち上げは、無観客での開催となりましたが、仙台市内5箇所で約5分間の花火を打上げ、仙台の夏の夜空を彩ることができました。社会情勢を鑑みて例年とは開催形式が異なりましたが、50年以上継続して開催されてきた仙台七夕花火祭を地域愛の輪が広がりを齋す仙台の文化として未来へつなげたいと思っております。

今後も仙台青年会議所の活動に対しご協力を願いますことがあるかと存じますが、引き続き変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

## 第52回仙台七夕花火祭御礼挨拶



公益社団法人 仙台青年会議所  
七夕花火祭特別委員会  
特別委員長

斎藤 恵太

8月5日（木）に実施しました第52回仙台七夕花火祭は、コロナ禍での開催となりましたが大きな問題もなく無事に実施することができました。仙台七夕花火祭開催に際して、ご協力をいただきました皆様、お力添えをいただきました皆様にあらためて感謝を申し上げます。

本年の仙台七夕花火祭は、「笑顔～未来を灯し、より豊かになる仙台へ～」をテーマに、仙台に笑顔が溢れ、地域を愛する気持ちが広がってほしいとの想いを込め、市民の皆様から仙台の未来に向けたメッセージや、これまでの仙台七夕花火祭にまつわる思い出に残るエピソードをお寄せいただき、たくさんの市民の皆様のご協力のもと開催しました。8月5日の花火打ち上げは、無観客での開催となりましたが、仙台市内5箇所で約5分間の花火を打上げ、仙台の夏の夜空を彩ることができました。社会情勢を鑑みて例年とは開催形式が異なりましたが、50年以上継続して開催されてきた仙台七夕花火祭を地域愛の輪が広がりを齋す仙台の文化として未来へつなげたいと思っております。

## 子どもの未来創造事業GO OUT STUDY 8月9日月

子どもが様々な体験を通してESDを学ぶGO OUT STUDY開催！

8月9日（月）「子どもの未来創造事業GO OUT STUDY」1日目を仙台市内にて開催しました。

本事業は、小学生とその両親を対象に、3日間でESD（持続可能な開発のための教育）要素を取り入れた各プログラムを通して、仙台の未来を担う人材を育成します。

1日目は、ESDへの入り口として持続可能な社会を分かりやすく学べる、SDGsゲーム「SDGs 2030」を行いSDGsの理解を深めました。

また、東北大学大学院環境化学研究所より松八重一代教授をお招きして、1つの物を作るためにどれくらいの「ものやこと」が関わっているかを知る出前事業を開催し、物事のサイクルを考え、資源の限界について学ぶ機会としました。



## 第7回例会 8月10日火

第7回例会 青年経済人として～仙台を本気で考えよう～を開催しました！

8月10日（火）第7回例会（7月後半例会）青年経済人として～仙台を本気で考えよう～を開催いたしました。本例会は、株式会社ボーダレス・ジャパン代表取締役副社長鈴木雅剛氏をお招きし、地域の課題を解決する具体例を、自社で行っているミャンマーでのソーシャルビジネスを事例に講演していただきました。

前半の講演では、青年経済人として関わっていく姿勢や原因を突き詰めて顕在化し、持続的な解決に向けた考え方や手法をご講演していただきました。後半は、メンバーの地域課題に対する考え方や取り組み方を発表してもらい、講師の鈴木氏から取り組みに対するアドバイスをもらうことで、参加者全員で考える機会といたしました。

なお、本例会は新型コロナウイルス感染予防対策の一環としてZoomを使用し、オンラインにて開催しました。



## 2021東北青年フォーラムin郡山 9月4日土・5日日

「2021東北青年フォーラムin郡山」開催

9月4日（土）、5日（日）の両日、日本青年会議所東北地区協議会主催、2021東北青年フォーラムin郡山「未来を切り拓け！～開拓者精神で共に奏でよう！東北六重奏～」が開催されました。本年度の東北青年フォーラムは、新型コロナウイルス感染拡大によって、WEB配信での開催となりましたが、2日間にかけて、リーダーシップ、防災、意識改革をテーマにした3つのフォーラムが開催されました。



## デリゲイツ壮行会！ 9月14日㈫

第34回国際アカデミーin仙台に国内参加者として行くメンバーの壮行会開催！

9月14日（火）第34回国際アカデミーin仙台に国内参加者として、仙台青年会議所から送り出すメンバーのために壮行会を開催いたしました。2021年度は、国際アカデミーに国内参加者として、事務局局長伊藤啓君、地域イノベーション創造委員会幹事今野円海君、2名を輩出いたします。壮行会では、開催地代表として参加する2人の健闘と成長を祈願して激励させていただきました。

なお、本年度は新型コロナウイルス感染予防のため送り出しの挨拶のみとさせていただきました。



## 第10回例会（9月例会） 9月15日㈬

新しい価値観やコンセプトを生み出す考え方や姿勢を学ぶ！

9月15日（水）第10回例会（9月例会）「Bから始める新しい創造～参加者全員で考える新しいアイディアを生んで実行するためのプロセス～」を開催しました。

本例会は、株式会社電通内にある電通Bチームの代表倉成英俊氏を講師としてお招きし、地域課題の解決に向けて、新たな発想や工夫を生み出す考え方を学ぶ機会として開催しました。



## 第34回国際アカデミーin仙台 オンライン国際交流プログラム 9月12日㈰

第34回国際アカデミーin仙台オンライン国際交流プログラム～SDGs for Future～を開催！

9月12日（日）に、国際アカデミー海外参加者招聘事業として、オンライン国際交流プログラムを開催しました。交流プログラムでは、仙台市内の高校生と海外の青年会議所メンバーをオンラインでつなぎ、お互いの国に関する相互理解を深めるセッション、そして、少数グループに分れてSDGsをテーマにディスカッションを行いました。

参加した高校にはSDGsを通じ、世界各国が抱える課題について学び、海外参加者には自国の取組みを日本の若い世代に伝える機会となりました。



## 2021年度第2回通常総会 9月15日㈬

2021年度第2回通常総会開催のご報告

9月15日（水）仙台青年会議所2021年度第2回通常総会を開催しました。

総会において2022年度理事長予定者を始めとする次年度理事会構成メンバーの決定について満場一致にて可決承認されるとともに、2022年度から仙台青年会議所の運動指針となるLOM中期ビジョン2026についても満場一致にて可決承認となりました。

これにより、2022年度理事長予定者として八重樫司（やえがしつかさ）君が承認され、仙台青年会議所2022年度体制がスタートを切りました。



## 第34回国際アカデミーin仙台 9月20日月～24日金

第34回国際アカデミーを宮城県仙台市で開催！

2021年9月20日（月）～9月24日（金）に、第34回国際アカデミーを宮城県仙台市で開催しました。

国際アカデミーは、世界約80各国の青年会議所メンバーと日本各地青年会議所のメンバーが国際レベルで活躍するリーダーとなるためにトレーニングを行います。

本年度は新型コロナウイルスの影響により、開催地である仙台に集まった参加者とオンラインからの参加者が融合した史上初のハイブリッド形式での開催となりまし

た。コースリーダーを務めるパスカル・ディケ氏によるモジュールもナイジェリアからオンラインで配信され、現地とオンラインの参加者が同時に受講するニューノーマルなスタイルで国際アカデミーを開催しました。

また、仙台特有の歴史・文化を背景とする「伊達の精神」に触れるプログラム、防災・減災について考えるプログラムも行いました。



### コースリーダーパスカル・ディケ氏によるハイブリットセミナー



### 開催地仙台プログラム

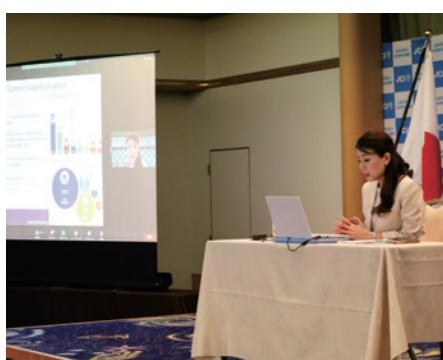
#### 開催地プログラム1 「伊達の精神性」Up To DATE ~Spirit of Date~

仙台藩伊達氏宗家第34代当主の伊達泰宗氏を講師として、仙台の開祖である伊達政宗公の精神や今日に受け継がれる文化に触れました。



#### 開催地プログラム2 「災害に備える」～Disaster Risk Reduction～

東北大大学災害科学国際研究所の泉貴子准教授を講師に招き、世界の防災減災の取り組み状況から、仙台防災枠組の背景と仙台防災枠組で重要な2つの事項、社会のレジリエンスを高める必要性、さらに「ビルドバックベター」の理解と「マルチステークホルダー」の重要性について理解を深めました。



## 第70回全国大会とちぎ宇都宮大会 10月7日木～10日日

### 第70回全国大会 とちぎ宇都宮大会ハイブリット開催！

10月7日（木）から10日（日）の期間で栃木県宇都宮市において、公益社団法人日本青年会議所第70回全国大会とちぎ宇都宮大会が開催されました。本年度の全国大会は、「真に持続可能な輝ける未来へ」をテーマに開催され、各フォーラム及び70周年記念式典・2021年度卒業生を対象とした卒業式が行われました。

大会式典の部では、中島土次年度会頭予定者のスピーチや次年度全国大会開催地の発表を通じて、2022年度日本青年会議所の運動へ力強くバトンが渡されました。

そして、卒業式の部では、これまでのJC活動を振り返り、卒業生の功績を称えるとともに、卒業生の想いが現役メンバーに託されました。

本年度の全国大会は、新型コロナウイルスの影響で初のハイブリッド開催となりましたが、これまでにない新しい形で卒業生をお送りする素晴らしい全国大会となりました。



### 公益社団法人 仙台青年会議所

## 2021年度 新入会員のご紹介



大友 健也  
有限会社 エフピーマネジメント



奥田 祐香  
株式会社 BLUE willow



笠寺 洸  
株式会社 ミクニ



川邊 大輝  
エフピットコミュニケーションズ 株式会社



菅野 麻耶  
学校法人 支倉学園



小松 尚斗  
株式会社 小松建設



佐久間 周平  
YAC 税理士法人



佐々木 直貴  
株式会社 Long Town



佐々木 瑞恵  
有限会社 清野エージェンシー



佐々木 陽介  
日本生命 相互会社



澤村 一真  
串焼きバル酉幻



菅原 雄太郎  
株式会社 ウイル動物病院グループ



菅原 亮  
株式会社 菅誠建設工業



菅原 瑠維  
合同会社 S・R・G



高橋 一也  
株式会社 タートルコミュニケーションズ



廣瀬 幹春  
ヴァンロード 株式会社

宮城県の廃車買取ならお任せ！  
無料出張致します！



IZUMI  
AUTOMOBILE  
DEMOLITION

廃車の高価買取・中古部品・中古車販売

有限会社 泉自動車解体 ☎022-255-9855

営業時間：8時30分～17時30分(土曜17時)

<https://www.izumikaitai.jp/>

## — 戦略MGで会社を強くしませんか！ —

経営者、幹部の皆様

創業を検討の皆様へ

**戦略MG**  
マネジメントゲーム

開発から約40年 1万社 500万人が受講

= 参加者募集中 =



mg 仙台

検索

来たれ初心者

**戦略MGセミナー**

開催日 12/2(木)・2/2(水)

時 間 AM8:00～PM8:00

参加費 20,000円

特 典 MG道場参加券 1年間(12回) 進呈！

「戦略MGセミナー」受講後は、「戦略MG道場」へ、目指せ100期！

**戦略MGマネジメントゲームとは**

①会社経営を、ゲーム感覚で学ぶ経営シミュレーションゲームです

②会社を設立し、設備投資・採用・仕入・販売・経理・決算を一人で行います

③専門知識不要、ゲームから導かれ、貸借対照表・損益計算書を作成します

特長は全般的な経営思考を高め、戦略的な計画管理能力が身につきます。気づきが学び！

集まれ経験者

**戦略MG道場**

開催日 12/9(木)・1/18(火)

時 間 PM1:20～PM8:00

参加費 1,000円

申込先 および 開催会場

〒983-0868

仙台市宮城野区鉄砲町中5-6

税理士法人 植松会計事務所 3F会議室

TEL : 022-297-2771

H P : [www.uema2-yume.com](http://www.uema2-yume.com)

Mail : [yume@uema2.com](mailto:yume@uema2.com)

講師 公認インストラクター

税理士法人 植松会計事務所皆様に

全面的な運営支援を頂いています



NPO法人  
夢実現支援隊



# 株式会社 ヤマトサービス

ヤマトサービス 足場

検索





**NONBEE**  
NO SAKE NO LIFE





青葉区中央3-10-22第六菊水ビル3F 仙台銀座内  
TEL 050-1275-0908

竹巻舗らーめん創作工房  
**竹巻らーめん**



宮城県仙台市青葉区国分町2丁目6-21S1F-C国分町ビル  
営業時間(中休み15時~18時)

# Project Agent

「いま」と「みらい」をつなぎ  
人が集うまちづくり。

私たちは、土木技術のあり方を考究し、  
美しい自然と共存できる、強靭でしなやかなまちを、  
豊かな生活環境を創り続けます。



## 編集後記

読者の皆様こんにちは。2021年度公益社団法人仙台青年会議所広報委員会委員長の高橋圭です。

まずは、2021年度の「NOZOMI」を発刊するにあたりまして、対談、広告協賛アンケート等にご協力いただきまして誠にありがとうございました。本号を持ちまして誠に2021年度広報委員会としては、最終号となります。

さて、広報誌「NOZOMI」は、1960年に創刊され、仙台青年会議所と地域や市民の皆様とのコミュニケーションメディアとして誕生し、現在まで、60年間に渡り発刊されてきました。「NOZOMI」の発刊は、仙台青年会議所で行われている運動の一つとして最も長い歴史があります。

仙台の課題の解決を目的とした仙台青年会議所の運動も時代とともに変わり、福祉国家の創造、公害問題への提起、国際化への推進、震災の復旧・復興支援、そして持続可能な社会の実現に向けて、いつの時代も地域に向け合い活動してきた仙台青年会議所活動の歴史を紙面に刻み続けてきました。

この長い歴史の1ページに広報委員長として携われたことを、大変うれしく思います。また、本号の対談でもこの話題が出ていましたが、対談の取材で普段会うことのできない方々と直接お会いした体験は私にとって忘れられない貴重な経験となりました。

これからも仙台青年会議所とあり続ける「NOZOMI」を引き続き、どうぞよろしくお願いいたします。

広報委員会 委員長 高橋 圭



■ 委員長	高橋圭
■ 副委員長	豊川竜司
■ 副委員長	渡邊傑
■ 幹事	阿部伸一郎
■ 幹事	宮本光貴
■ 事員	阿部慶太
■ 事員	海山由紀
■ 員員	小塙寺喬
■ 員員	栗崎智亮
■ 員員	高橋勇太
■ 員員	高橋欣也
■ 員員	高橋俊也
■ 員員	三浦忠剛



太陽地所の賃貸物件

Soleil series

住まいを創り、住を創造する。



宮城県知事 (4) 第 5026 号

太陽地所株式会社

グループ企業 サイト工業株式会社

お客様と共に信頼の歴史

SIGHT



はぐくみの木の家